

## 編集後記

◇ 国際社会は依然として混沌と動揺の下に時間のみが悠然として流れていきます。人は常に慌ただしく忙殺の状況に己れを入れ込んで、日々を過して行かなければ納得できない生き物なのでしょうか。時間が連綿と継続している中で、その時間に追いついてられ、時間に支配され、ストレスを蓄積させて自滅の道を辿っているのではないのでしょうか。

このような現象は先進国特有のものなのでしょうか。文明の高度化や先端科学の発達は、返って人々の日常生活を不幸に陥し入れているのかも知れません。元来、人々は共に生き、共に生活を営んで相互に扶助し合ってきたものです。私有と道具の発達は共有と共生の生活を崩壊させたのではないのでしょうか。

◇ 現在、極度に発達した科学文明と個人主義の下で、人間関係の消滅が危惧されています。人間性の復活と共生の存在が求められています。

本フォーラムでは「共生のマネジメント」を特集しました。各論者が異なった

視角から「共生」のあり方を論じています。「共生」は新しい意味をもつ言葉ででしょうか。新しい響きを伝えてくれる背景には伝統的人間関係が崩れ、人間文明が機械文明に替ってしまったことで「共生」の響きが人間生活から消えてしまったからではないのでしょうか。そして現在、「共生」の復活が求められ、改めて、その意味が再認識されようとしたのだと思われまふ。人々は機械機器を有効に使用し、生活向上に役立ててきましたが、逆に機械に使われている恐れもありまふ。

人間同志が互いに相手の存在を認め合い、相互扶助の精神をもって生きるのであれば、醜い争いは消えてしまうことでしょうか。この社会から醜さと争いが根絶する時代の到来を待ち続けたいと思いまふ。社会は益々、「共生」を求めています。

(M)

国際経営フォーラム編集委員

金谷 良夫  
三村 真人

国際経営フォーラム 第八号 ISSN 0915-8235  
発行 一九九七年三月三十一日

(年一回発行) 非売品

編集 国際経営研究所

発行人 七田基弘

発行所 神奈川大学国際経営研究所

〒二五九-112 平塚市土屋二九四六

電話 (〇四六三) 五九-四一一 (代表)

FAX (〇四六三) 五八-九六八八

印刷 カサハラ印刷株式会社

〒二五九-111 伊勢原市白根四七五-1

◆本誌ご希望の方は、送料実費として切手二七〇円を添えて、右記の国際経営研究所の編集委員宛お申し込みください。在庫切れの節はご容赦ください。

◆本誌掲載記事・論文の一部または全部の転載は、事前に筆者または国際経営研究所から直接書面による許可を得た場合に限られます。